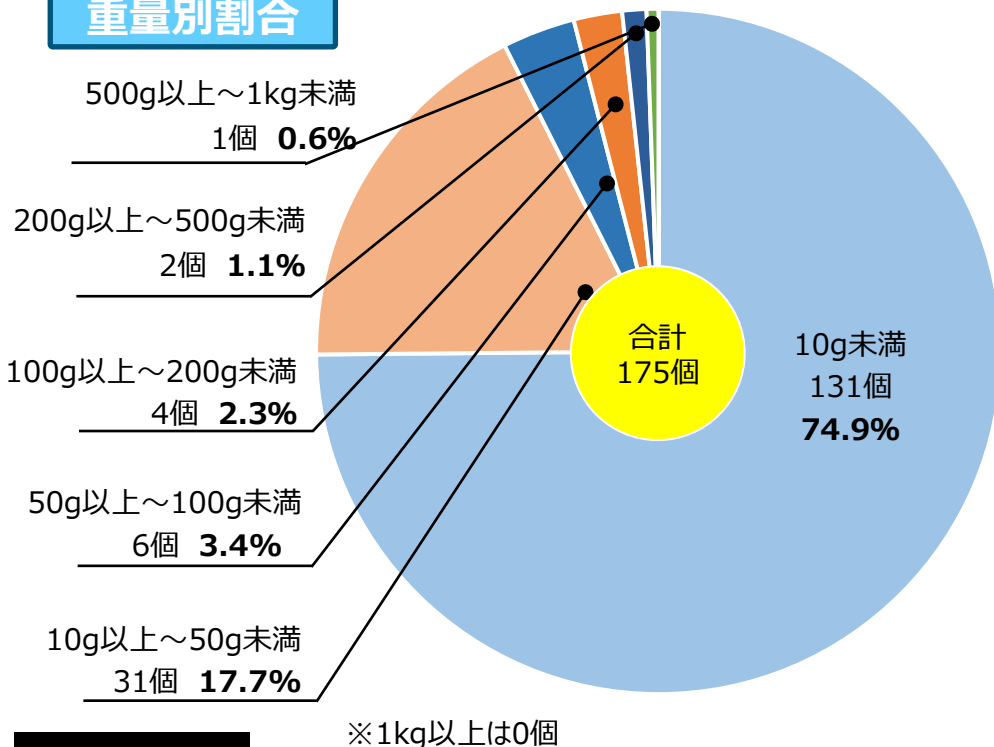


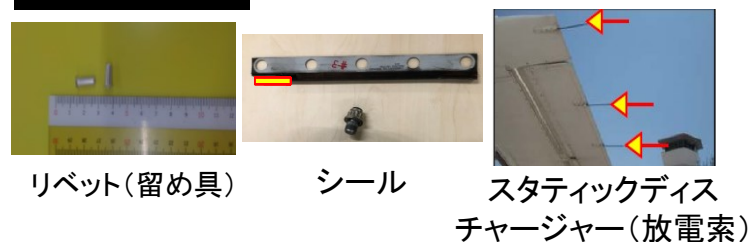
2024年12月～2025年1月における部品欠落の重量別・部品別割合 国土交通省

- 部品欠落の報告制度により、羽田空港を含む7空港において2024年12月～2025年1月に報告された欠落部品の総計は175個であり、そのほとんどは100g未満で、約7割が10g未満である。（前年度同期間は170個）
- また、欠落部品の多数を占める10g未満の部品についても、各航空会社において、落下物防止対策基準に従って、欠落事例を分析し必要な再発防止策が進められている。

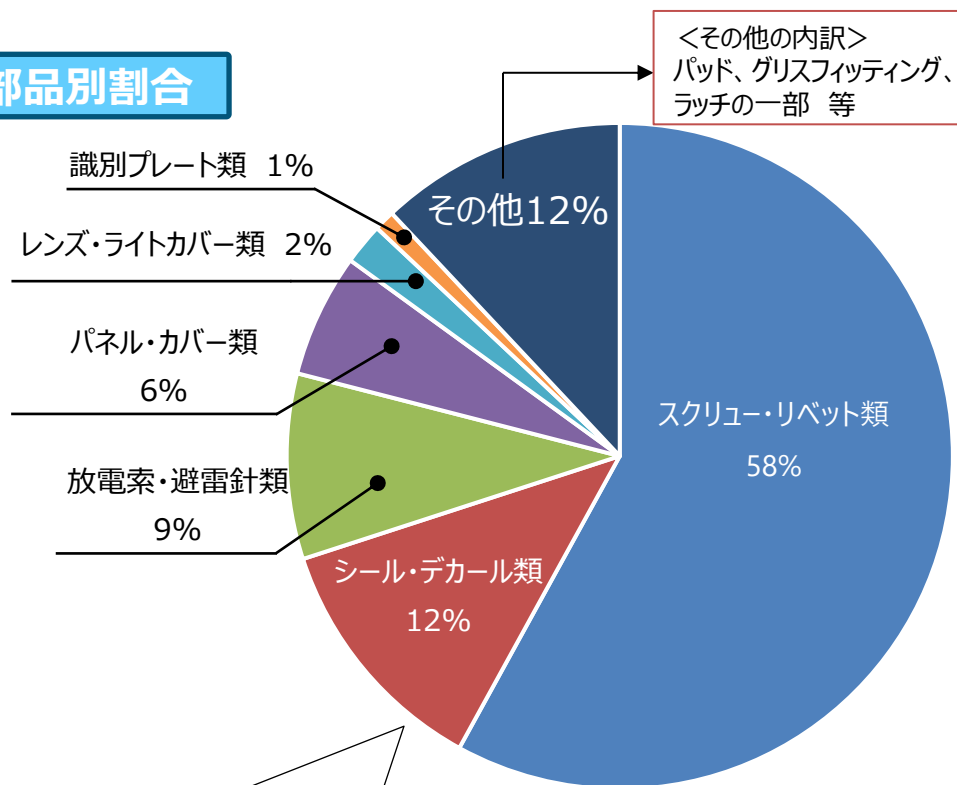
重量別割合



部品欠落の例



部品別割合



- 部品欠落報告の約6割はスクリー、リベット等の留め具であり、重さは1g～60g程度
- シール、デカル類の材質はアルミニウム、プラスチック等であり、重さは1g～200g程度
- 放電索、避雷針類の材質は複合材等であり、重さは5g～20g程度
- パネル類の材質は複合材等、カバー類はプラスチック等であり、重さは2g～60g程度のものがほとんど
- レンズ、ライトカバー類の材質はプラスチック等であり、重さは100g～180g程度
- 識別プレート類の材質はゴム等であり、重さは3g程度